

# 九頭竜川水系 九頭竜ダム洪水調節による効果

○「令和2年7月豪雨」により九頭竜川上流域では、7月6日から7月8日にかけて、**流域平均総雨量が260mmを超える降雨**となり、九頭竜ダムへの**最大流入量は約584m<sup>3</sup>/s**。

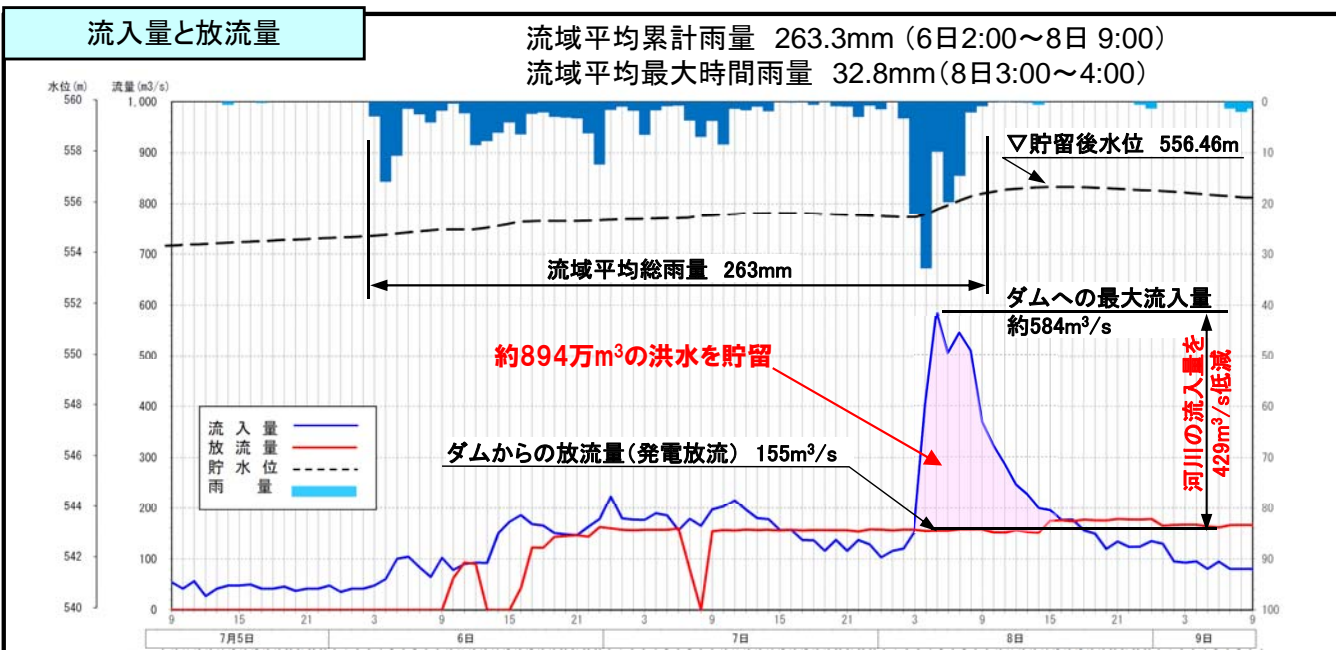
○九頭竜ダムでは、8日時点で**約894万m<sup>3</sup>の洪水を貯留**し、ダム下流の朝日地点(大野市朝日付近)で河川水位を**最大で約0.9m低減**させる効果があったと推定。

おおのし あさひ

位置図



流入量と放流量



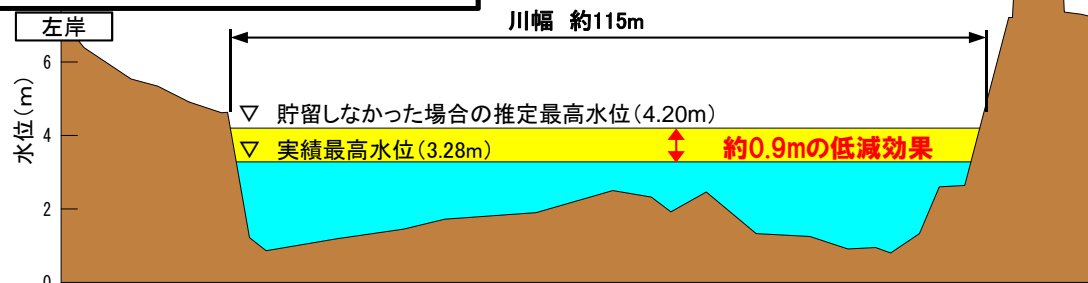
レーダー雨量

8日4:00



朝日地点における水位低減効果

朝日地点 (九頭竜ダムから下流約5km)



状況写真



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。